令和２年９月２３日

ＰＴＡ会長　各位

加古川市ＰＴＡ連合会
会　長　　田中　宏昌

新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて（お願い）

皆様におかれましては、６月からの学校園の再開後、皆様の感染症対策の取り組みへのご理解とご協力により、これまで学校園において、児童生徒の学びを確保するための取り組みが進んでいること、心より感謝申し上げます。

全国で児童生徒や教職員など学校園関係者が新型コロナウイルス感染症に感染したとの報道がされています。加古川市内の学校園においては、これからも感染症対策を万全にした修学旅行や自然学校などの教育活動が予定されていますが、今後、児童生徒や教職員等が感染し、臨時休校や教育活動が中止となる可能性もゼロではありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症は、どの様な感染症対策の取り組みを徹底しても学校や家庭、社会において感染リスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性がある感染症です。

今、私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。皆様におかれましても最新の科学的な知見等を知ることに努めていただき、日々の生活に生かしていただきたいと思います。

先日、文部科学大臣が「新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて」のメッセージを発出しましたので、加古川市ＰＴＡ連合会として、次の二点をお願いさせていただきます。

皆様には、可能な範囲で各学校園のＰＴＡ会員に周知いただきますよう、何卒、よろしくお願い致します。

一　感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒や教職員、学校園の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、さらなる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校園を特定して非難する」、「感染者と同じ職場の人や医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。「人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器」になります。

二　学校園における感染症対策と教育活動の両立に対するご理解とご協力です。

感染症への対応は長期にわたります。学校園では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取り組みを進めていただいているところです。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校園の教育活動の継続へのご理解とご協力をお願い致します。